

# 平成23年度 定期作況報告

6月20日現在  
道総研根釧農業試験場

## ． 気 象 概 況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬：最高および最低気温が14.1および4.5 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は9.3 で平年並であった。降水量は18mmで平年より26mm少なかった。日照時間は56.8時間で平年より10時間多かった。

6月上旬：最低気温は8.1 で平年並であったが最高気温が19.6 で平年より1.7 高かったため、平均気温は13.9 で平年より1.3 高かった。降水量は6mmで平年より16mm少なかった。日照時間は58.2時間で平年より8.3時間多かった。

6月中旬：最高気温は16.4 で平年より2.1 低かったが最低気温が平年並であったため、平均気温は13.2 で平年並であった。降水量は23mmで平年より18mm少なかった。日照時間は10.4時間で平年より28.4時間少なかった。

この1ヶ月間は6月中旬の著しい寡照が特徴的であったが、総じて気温・日照時間は平年並、降水量は少なくて推移した。

気象表

項 目	5 月 下 旬			6 月 上 旬			6 月 中 旬			平均また	
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年
平均気温 ( )	9.3	9.9	0.6	13.9	12.6	1.3	13.2	13.8	0.6	12.1	12.1
最高気温 ( )	14.1	14.6	0.5	19.6	17.9	1.7	16.4	18.5	2.1	16.7	17.1
最低気温 ( )	4.5	5.1	0.6	8.1	7.3	0.8	9.9	9.0	0.9	7.5	7.1
降水量 (mm)	18	44	26	6	22	16	23	41	18	47	10
降水日数 (日)	3	5.2	2.2	3	3.7	0.7	6	3.5	2.5	12	12.1
日照時間 (時間)	56.8	46.8	10.0	58.2	49.9	8.3	10.4	38.8	28.4	125.4	135.1

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は色の値を示す

# 当 場 作 況

## 1. とうもろこし

作況： 平年並

事 由 先に報告した播種期は平年より6日早かったが、その後、気温は平年並かつ降水量が少なかったため、出芽期は平年より4日早いにとどまった。

出芽後は日照時間が少なく推移したため、とうもろこしの草丈および葉数は、平年並である。

これらのことから、目下の作況は平年並と判断される。

品 種 名	出芽期(月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちびりか	6. 5	6. 9	4	18	-	-	3.8	-	-
( ぱびりか	6. 6	6. 8	2	19	18	1	3.4	3.7	0.3 )

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちびりか」に変更している。

3) 「たちびりか」は、草丈や出葉数といった一部項目について過去のデータ蓄積が不足しているため、参考として下段に、「ぱびりか」における調査結果を記載する。

4) 「たちびりか」の平年値は、前6カ年のうち、最凶作の平成21年を除く5カ年の平均値である。「ぱびりか」の平年値は、前7カ年のうち、最豊作の平成19年および最凶作の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) は減を表す。

## 2. 牧草

(1)採草型(チモシー単播)

作況：1番草 並

### 事 由

本年の1番草は、6月20日現在、出穂期に達していないため、刈取りを行っていない。6月20日の草丈は平年に比べ2年目草地で1cm低く、3年目草地では逆に8cm高かった。以上のことから本年の1番草の作況は平年並みと判断される。

草 地	6月20日草丈(cm)			1番草 出穂期(月.日)			1番草 刈取り日(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	102	103	1	-	6.25	-	-	6.25	-
3年目	110	102	8	-	6.25	-	-	6.25	-

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成16～22年のうち最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値

3) は減を示す。

(2)放牧型(オーチャードグラス単播)

作況：1番草 不良

作況：2番草 やや不良

#### 事 由

1番草は草丈が平年より2年目草地で12cm、3年目草地で15cm低かった。乾物収量は2年目草地で平年より57kg、3年目草地で31kg/10a少なかった。草丈および収量が極端に低かったのは、5月上中旬の低温により冬損からの回復が遅れていたためと考えられる。

2番草の6月20日現在の草丈は2年目草地で6cm、3年目草地で8cm低かった。

以上から、1番草は不良、2番草の生育はやや不良と判断した。

草 地	1 番 草						2 番 草		
	刈取り月日			草 丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	6.1	6.1	±0	31	43	12	44	50	6
3年目	6.1	6.1	±0	23	38	15	41	49	8

草 地	1 番 草					
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	452	899	447	97	154	57
3年目	440	564	124	91	122	31

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成16～22年のうち最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値

3) は減を示す。